

① アミロイドPET検査前に確認していただきたい事項(問診表)

以下について予約時に患者様とご確認ください

★該当することがございましたら事前にご連絡ください

福岡徳洲会病院 核医学・PETセンター

検査で使用する放射性医薬品「ビザミル静注」について

- 添付文書上、禁忌項目等がございますので確認をお願いします。
 - ①禁忌(次の患者には投与しないこと)・・・
本剤の成分に対して過敏症の既往歴がある患者
※重大な副作用として、アナフィラキシー(0.2%)を起こすことがあると報告されています。
 - ②禁忌項目ではありませんが、
添加物として日本薬局方無水エタノール 0.14mL が含まれています。
アルコール過敏症ではないかの確認をお願いします。

妊娠中・妊娠の可能性がある方

- 添付文書上、「診断上の有益性が被曝による不利益を上回ると判断される場合にのみ投与すること」とされています。

授乳中の方

- 「診断上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること」とされています。
(授乳時における安全性についての成績は得られていません)

小さなお子様が身近にいる方

- 検査後12時間ほどは乳幼児の抱っこなど、密な接触を控えてあげてください。
検査への同伴も被ばくの関係上ご遠慮ください。

閉所恐怖症の方・あおむけで安静にじっと出来ない方

- PET画像の撮影の際には、CTよりも長い筒状の装置に入ります。
MRIのような大きな音はしませんが、撮影には20分～30分かかります。
頭を固定し、手足も動かさないようにして
装置内で「あおむけ」で「じっと」しておく必要があります。
閉所恐怖症の方は、事前の見学をお勧めします。ご相談ください。

疼痛がある方

- 上記のように、撮影中はじっとしておく必要があります。
PET画像撮影の時間(注射から1時間後)に合わせて痛み止めによる疼痛のコントロールをお願いします。

持続血糖測定器、インスリンポンプをご使用中の方

- 放射線検査の際は取り外すようメーカーから推奨されています。

トイレなど日常生活で介助が必要な方

- 通常、核医学PETセンターへは患者様だけ入りますが、トイレや歩行などで介助が必要な患者様の場合は、介助のための付き添いを1名だけお願いします。
※付き添いの方も少量ですが被ばくをします。